

消費動向指数（CTI）の概要

消費動向指数(CTI: Consumption Trend Index)は、家計調査の結果を補完し、消費全般の動向を捉える分析用のデータとして総務省統計局が作成している。

消費動向指数は、次の2つの指標体系で構成されている。

①世帯消費動向指数（CTIマイクロ）

世帯の消費支出の平均額の推移を示す指数である。世帯における当月の消費支出の平均額について基準年(2020年)の消費支出の平均月額を100とする指数で表している。費目別の値は当該指数値の内訳となっている。毎月の家計調査の結果に、家計消費状況調査及び家計消費単身モニター調査の結果を合成した支出金額によって作成している。

詳しくは[統計局 HP](#)の「2020年基準 世帯消費動向指数(CTIマイクロ)の推定方法」を参照。

②総消費動向指数（CTIマクロ）

我が国における世帯全体の消費支出総額(GDP統計の家計最終消費支出に相当)の推移を推測する指数である。当月の消費支出総額について基準年(2020年)の消費支出総額の平均月額を100とする指数で表している。毎月の世帯消費動向指数(総務省統計局)、サービス産業動態統計調査結果(総務省統計局)、商業動態統計調査結果(経済産業省)、第3次産業活動指数(経済産業省)及び鉱工業生産指数(経済産業省)の動向から、季節調整済みの家計最終消費支出に相当する消費支出総額の推移を時系列回帰モデルによって推測している。世帯消費動向指数と同じく消費の動向を示す指数だが、推計対象が異なり、世帯数の増減の影響が含まれ得るため、世帯消費動向指数とは異なる動きを示す。

詳しくは[統計局 HP](#)の「2020年基準 総消費動向指数(CTIマクロ)の推定方法」を参照。